

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 松元

【計画】

作成担当者： 吉満 まゆみ

開催日時	平成31年02月18日 13:30 ~ 15:30	開催場所	松元支所3階大会議室
参加者	まちづくり協議会(4地区)：4人、民生委員児童委員協議会会長：1人、支所保健福祉課：2人、居宅介護事業所管理者：1人、通所リハビリテーション：1人、シルバー人材センター：2人、GH管理者：1人、社会福祉協議会支部長：1人、地域包括支援センター職員：6人 総数 19人		
内容	テーマ	85歳の自分を通して、松元の地域課題を考える。	
	目的	地域での取り組み状況報告 地域課題の抽出や次年度に向けて	
	概要	1. 開会 2. 総合事業の進捗 3. 未来型会議 「85歳の自分を通して、松元の地域課題を考える」 4. H30年度地域での活動を振り返り 5. 来年度に向けて	

【結果】

開催日時	平成31年02月18日 13:30 ~ 15:30	開催場所	松元支所3階大会議室
参加者	まちづくり協議会(4地区)：4人、民生委員児童委員協議会会長：1人、支所保健福祉課：2人、居宅介護事業所管理者：1人、通所リハビリテーション：1人、シルバー人材センター：2人、GH管理者：1人、社会福祉協議会支部長：1人、地域包括支援センター職員：5人 総数 18人		
内容	1. 総合事業の進捗についてチラシを元に説明を受け、出席者全員で情報共有した。 2. それぞれ、松元で在宅生活を送っている85歳の住民として設定した上で、①特にうれしいと思うこと？②うまくいったこととして、自分で努力し、誰が、どんなふうにサポートしてくれたのか？③以前悩んでいたこと、その悩みを軽減させたものの想起について、進行係との1対1の話す聞くの形で進化した。 大切にしているものが『健康』『子どもや孫の生活』との意見が多く、今後の地域での取り組みにつなげることはできなかった。自分の健康維持のために医療、日頃の運動、近隣との付き合い、趣味活動を通じての付き合い、人の集まる場所への外出など年を重ねても生きがいにしたい部分を抽出することは出来た 3. 平成30年度地域での活動を振り返り ・東昌地区まちづくり協議会の『高齢者交流会』 東昌地区高齢者の交流会について、ビデオ抜粋とアンケート結果の説明があり、開催までの創意工夫について質問が多く、地域への働きかけが大きいと対象も大きな反応を示してくれる、模範事例のように感じた。 ・2回目同会議で要望のあった、地域づくりの一環として、地域の高齢者の野菜販売などに取り組んでいる地域の資料として、作成資料を元にコーディネーターから説明を受け、情報共有した。		
今後の課題など	1) 来年度の取組みについて、共有すべき課題の受け止めにばらつきが生じたまま、閉会した可能性が強く、H31年度第1回目、再確認が必要である。		